

2025

12.17 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_DUIImDHFWSMCABIsSngayMQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS

私たちには感じられないものを 機械で検出する

3 すべての人に
健康と福祉を9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

Key Words

機械学習

多次元検査

データ統合

医療診断

補聴器調整

緑内障スクリーニング

ウォング ウィリー 教授

システム情報科学研究院 情報学部門

ウォング・ウィリーは、情報科学部・電気電子工学科 情報学専攻の教授です。日本に来る前は、トロント大学で約 25 年間、教授として在籍しました。トロント大学では、学士号を物理学で取得し、その後、修士号と博士号を物理学および生体医工学で取得しました。ウォン教授の日本との関わりは、1990 年代後半に日本学術振興会 (JSPS) のポスドク研究で来日したことに始まります。それ以来、聴覚科学や網膜インプラントなどの研究分野で、多くの日本の研究者と長期にわたる共同研究を続けています。現在は、感覚障害のためのアルゴリズム開発や理論神経科学の研究に取り組んでいます。

本講演では、私たちが開発した二つの機械学習アルゴリズムについて紹介します。ひとつ目は、同じような検査を同時に複数行う場合に、検査の時間を短縮することを目的としています。ふたつ目は、異なる種類の検査結果を組み合わせることで、複数の情報を総合的に理解できるようにするものです。これらの課題は感覚検査に限らず、複数の測定を行い、その結果を解釈する必要がある医療の現場でも広く見られます。講演では、実際の応用例として、補聴器の調整や緑内障のスクリーニングでの取り組みを紹介します。